

正木不如江 あきぎ 小説家、俳人、結核醫、醫學博士。明治二十年一月、二十六日長野縣生れ、昭和二十七年七月二十日歿（八七―九二）。

本名俊一。別號朱虹、落筑子、不如江山人等。大正五年東京帝國大學醫科大學卒。歐洲留學。十一年慶應義塾大學助教、十二年宮田重雄、椿八郎等と同人誌『脈』創刊、昭和四年富士高原療養所所長。

著譯書『診療簿録』(大正十二年一月八日春陽堂)、『法醫學教室』

(大正十二年十一月十八日春陽堂)、『木賊の秋』(大正十二年一月

十五日春陽堂)、『特志解剖』(大正十四年七月一日春陽堂)、『王

手機車取り』外十八篇』(大正十五年五月八日春陽堂)、『家庭治療

讀本』(大正十五年六月五日聚英閣)、『漢留比涅』(大正十五年十

月十八日春陽堂)、『學用患者の手記』(大正十五年十一月十八日又

藝春秋社出版部)、『文藝講座・第一卷』(合著・日本放送協會關東

支部編、昭和四年四月十二日日本ラヂオ協會文藝館「ラヂオ講演」)、『身

體と食物』(昭和二年一月一日ヤル大「日本兒童文庫」)、『日光浴』

(本名、内務省衛生局編、昭和二年十一月二十日大日本社(衛生會)、

『いさゝかの健康法』(昭和四年四月一日帝國教育會出版部「現代生

活叢書」)、『強壯への道』(昭和四年五月五日帝國生命保險株式會社健康増

進部「健康増進叢書」)、『フロイド精神分析大系』(9)『油落の精

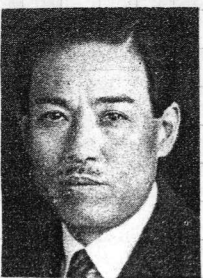
神分析』譯、昭和五年五月十日ヤル大)、『人性醫學』(昭和八年五

月十五日武談社「性科學全集」)、『結婚改造』(昭

和八年十一月五日東京堂「現代生活叢書」)、『家

庭の醫學と治療法』(昭和七年八月二十日栗田書

店)、『生死無限』(昭和八年六月二十八日四條書房)、『野口英世



一人類の恩人』(昭和十一年六月) 千一 百新潮社「新博覧記叢書」(、
 『處女地帯』(昭和十二年一月) 千五百中央公論社)、 『才鐵科學』
 (合著・今井善孝・林謙・寺尾新編、昭和十二年六月) 千二百三省堂)、 『高
 原療養所』(昭和十七年六月) 千二 百大日本雄辯會講談社)、 『抗病
 教室』(昭和十七年八月) 千一 百春陽堂文庫出版株式會社)、 『勤勞と
 健康の書』(昭和十八年六月) 千 百長尾出版報國會)、 『高原・釣』
 (昭和二十一年五月) 千五百民生書院)、 『最後の犧牲者』(昭和二十
 一年九月) 千 百民生書院)、 『血の告白』(昭和二十一年十二月) 百ツ
 ンゴ書院)、 『隨筆』 釣十(一ヶ月) 高原・釣改題(『(昭和二十二年四
 月) 百民生書院)、 『思われ人―結核医の手記』(昭和二十九年二月
 十五) 百春陽堂書店)、 『花の閑落』(昭和二十二年二月) 百朝日新聞
 社「書下し」(一) 等。